Campagnolo®

BAR END

BRAKE LEVERS

警告!

この取扱説明書の指示をよく読んで、理解し、従ってください。この取扱説明書は製品の重要な一部です。いつでも参照できるように安全な場所に保管してください。

メカニックの資格 - 自転車に関する多くの点検や補修作業には、特別な知識や工具、経験が必要になります。一般的な機械に対する知識だけでは、正しく自転車を点検したり、補修したりするためには十分とはいえません。ご自身の点検、補修の能力について少しでも疑問があれば、適切な技術のある販売店にご相談ください。

「事故」 - この取扱説明書の中では一貫して、「事故」が起こる可能性について言及しています。どんな事故でも、自転車やその構成部品を損傷させる可能性があります。それ以上に重要なことは、運転者や第三者に重大な身体損傷を負わせたり、死亡の原因になる可能性があるということです。

想定された使用 - カンパニョーロ® 製品は、平滑な道路や自転車競技用走路を走るロードレース用自転車にのみ使用されるように設計、製造されています。この製品をそれ以外のオフロードやトレイルで使用することは禁じられています。

製品寿命 - 磨耗 - 点検の必要性 - カンパニョーロ® 構成部品の製品寿命は、ライダーの体格、乗車する条件など、多くの要因に左右されます。一般的に、衝撃、落車、不適切な使用、過酷な使用は、構成部品の完成された構造を傷つけ、製品寿命を著しく縮めることになります。構成部品の中には時間が経つと消耗するものもあります。自転車に亀裂や変形、疲労や消耗の兆候がないか、適切なメカニックによって定期的に検査してください。検査によって変形や亀裂、衝撃や圧力を受けた跡が見つかった場合、それがどんなに小さいものでも、すぐにその構成部品を交換してください。過度に疲労した構成部品もすぐに交換してください。検査の頻度は多くの要素に左右されます。カンパニョーロ® 正規販売店で、適切なスケジュールを確認してください。

体重が82Kg (180lbs) 以上ある場合は特に注意し、それ以下の場合よりも頻繁に、亀裂や変形の形跡、その他の疲労や圧力を受けた兆候がないかを検査する必要があります。選択した構成部品が使用目的に合っているか、どれくらいの頻度で検査を行うかを決めるにあたっては、カンパニョーロ® 正規販売店にご相談ください。

EPSドライブトレインの性能を最大に引き出し、安全性、性能、耐久性、機能性を損なわないために、EPSドライブトレインの6つの構成部品は、カンパニョーロ® 11スピードの機械式ドライブトレインの構成部品と共に使用する必要があります。カンパニョーロ® が製造したものではないEPS構成部品を使用することはできません。

注意: カンパニョーロ® 製品に類似した構成部品用として、他製造元が供給している工具の中には、カンパニョーロ® 構成部品に合わないものがあります。同様に、カンパニョーロ s.r.l. が供給している工具の中には、他製造元の構成部品に使えない場合があります。ある製造元によって供給されている工具を他製造元の構成部品に使用する前には、必ず正規販売店、または工具製造元にその適合性をご確認ください。

このカンパニョーロ® 製品を利用する使用者は、自転車の乗車には固有のリスクがあることを明確に認識するものとします。この危険には、自転車の構成部品が故障し、事故や怪我、死を招く危険も含まれます (ただしこれに限定されません)。ユーザーは、カンパニョーロ® 製品を購入し、使用することで、明白にかつ自主的、承知の上で、カンパニョーロ s.r.l. の受動的、能動的過失、または隠れた、潜在的な、または明白な製品瑕疵に限定されない、これらのリスクを受け入れ、または認識していることになります。そして、結果として生ずるいかなる損害に対しても、法律によって許されている最大限の範囲で、カンパニョーロ s.r.l. が保護されていることに同意しています。

安全のために

- カンパニョーロ®製品の構成部品には、いかなる改造も決して加えないでください。

- 曲がったり、事故や衝撃によって損傷を受けた部品は、伸ばして元に戻さないでください。純正のカンパニョーロ®部品と即座に交換してください。

- 身体に正しくフィットし、車の運転手に目立つように、ネオンカラー、蛍光色、明るい色のウェアを着用してください。

- 他からの視認性が悪く、路面の障害物を見つけにくい夜間の乗車は避けてください。夜間に乗車する場合は、ヘッドライトやテールライトを自転車に装着してください。

- 過去の使用歴やメンテナンス歴が不明な自転車や構成部品は、決して使用しないでください。「中古」の製品は過去に誤用されたり、酷使された可能性があります。予期しない故障が起こり、事故の原因になることがあります。

- ANSI、またはSNELLに承認された自転車用ヘルメットを、常に正しく装着し、あごひもを締めてください。

Campagnolo®

乗車する前に

毎回乗車前には以下の点検を実施してください。点検によって問題が見つかり、解決できない場合は、その自転車に乗車しないでください。

- ブレーキ、ペダル、ハンドル・グリップ、ハンドル・バー、フレーム、サドルとシート・ポストなど (ただし、これらに限定されません)、すべての自転車の構成部品が最適の状態にあり、使用に適していることを確認してください。

- 自転車のすべての構成部品に湾曲や破損がなく、正しく調整されていることを確認してください。

- ブレーキパッドとケーブルを点検し、正しく調整されていることを確認してください。

- 走行を始めるときにはブレーキをテストし、正しく動作することを確認してください。

- 自転車に関する法律、規則を正しく理解し、従ってください。乗車時にはすべての交通に関する信号、標識に従ってください。

ご意見やご質問、ご相談がございましたら、お近くのカンパニョーロ・サービスセンターにお問い合わせください。サービスセンターのリストは、www.campagnolo.comでご覧いただけます。

1. 取り付け

警告! 適合性

バー・エンド EPS ブレーキ・レバーは、キャリパー・ブレーキ専用です。

構成部品を取り付けたり、取り外したり、また調整する際には、EPS パワー・ユニットの取扱説明書を参照し、EPS ドライブトレインの電源をオフにしてください。

⚠ 警告!

カンパニョーロ® 正規サービスセンター、カンパニョーロ® 正規プロ-ショップ、EPSグループセットを組み付けることができる専門のメカニックだけが、バー・エンド EPS ブレーキ・レバーを取り付け、接続することができます。

改造や不適切、不完全な取り付けを行うと、たとえそれが一つのEPSグループセットの構成部品であっても、自動的に限定保証が無効になります。

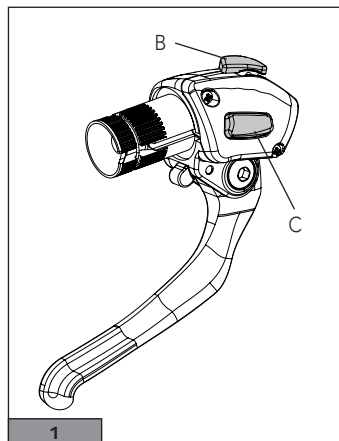
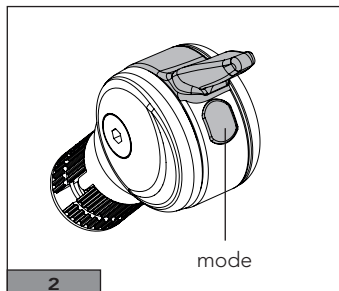
⚠ 注意! 専門メカニックの方へ

EPS ドライブトレインのすべての取り付け、取り外し、調整、メンテナンス作業は、EPS 取扱説明書に記載されています。取扱説明書は、インターネット・サイトwww.campagnolo.comから、PDFフォーマットでダウンロードすることができます。

2. 操 作 方 法

- 左側コントロールのレバー2（B - 図1）はフロント・ディレイラーを動作させ、チェーンをアウター・チェーンリングに動かします。

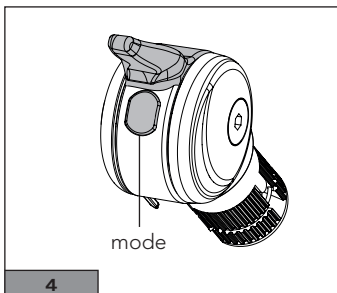
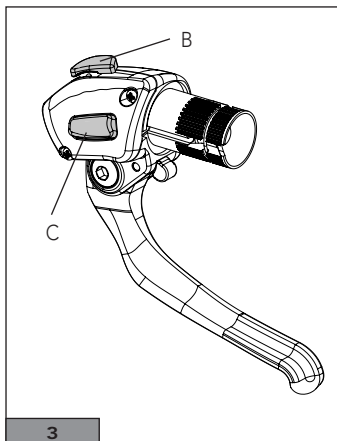
- 左側コントロールのレバー3（C - 図1）はフロント・ディレイラーを動作させ、チェーンをインナー・チェーンリングに動かします。

- フロント・ディレイラーはチェーンリングとスプロケットの位置に応じて、自動的にフォークを最適な位置に動かします。

- 左右のコントロールにあるモード・ボタン（図2 / 4）のひとつを短く押すと、インターフェースのLEDでバッテリーの充電状態を確認することができます。

- 右側コントロールのレバー2（B - 図3）はリア・ディレイラーを動作させ、チェーンを大きいスプロケットに動かします。

- 右側コントロールのレバー3（C - 図3）はリア・ディレイラーを動作させ、チェーンを小さいスプロケットに動かします。

- 右側コントロールのレバー2（B - 図3）を押し続けると、大きいスプロケット側に多段変速することができます。

- 右側コントロールのレバー3（C - 図3）を押し続けると、小さいスプロケット側に多段変速することができます。

- 左右コントロールにあるモード・ボタン（図2 / 4）のひとつを短く押すと、インターフェースのLEDでバッテリーの充電状態を確認することができます。

重要

バー・エンドEPSブレーキ・レバーに不調が起きた場合は、EPSパワー・ユニットの取扱説明書 にある統合診断システムの項を確認し、カンパニョーロ® 正規サービスセンター、カンパニョーロ® 正規プロ-ショップ、またはEPSグループセットを組み付けることができる専門のメカニックに相談してください。

2.1 - ライディング・セッティングとゼロ・セッティング

- 左右のコントロールにあるモード・ボタン（図2 / 4）を約6秒間押し、フロント・ディレイラーとリア・ディレイラーの基準となる位置を調整します （EPSフロント・ディレイラーとEPSリア・ディレイラーの取扱説明書をご覧ください)。

- 左右のコントロールにあるモード・ボタン（図2 / 4）を同時に約6秒間押し、フロント・ディレイラーとリア・ディレイラーの基準となる位置をゼロにリセットします。

⚠ 警告!

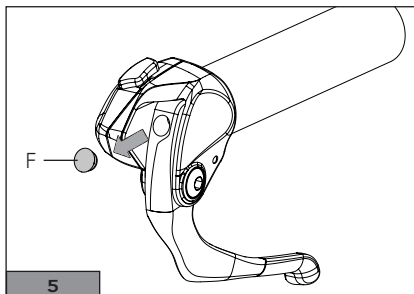
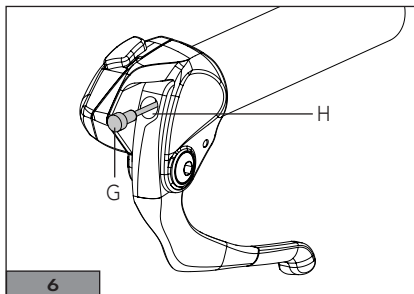
乗車中にフロント・ディレイラーとリア・ディレイラーのセッティングを行うと、危険な状況を引き起こし、事故の原因になることがあります。そのため、その作業を行う際は十分に注意してください。

⚠ 警告!

フロント・ディレイラーとリア・ディレイラーをゼロ・ポジションにリセットする作業は非常に繊細ですので、必ず自転車をスタンドに固定した状態で行ってください。その作業は、カンパニョーロ® 正規サービスセンター、カンパニョーロ® 正規プロ-ショップ、またはEPSグループセットを組み付けることができる専門のメカニックだけが行うことができます。

3. インナー・ケーブルの取り付けと調整

ブレーキ・レバーの正面に付いているラバー・キャップ (F - 図5) を取り外します。

5

- ブレーキ・レバーの穴 (H - 図6) と固定ねじの穴に、インナー・ケーブル (G - 図6) を差し込みます。

インナー・ケーブルがアウター・ケーブルの中を滑らかに動くことを確認します。

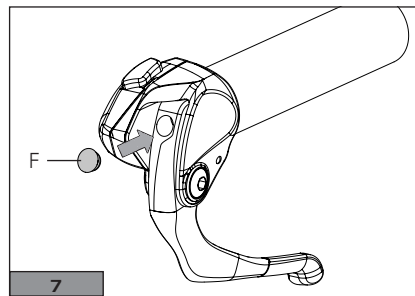
6

フロント・ブレーキのインナー・ケーブルは、長さが800 mmで、径は1.6 mmです。

リア・ブレーキのインナー・ケーブルは、長さが1600 mmで、径は1.6 mmです。

ブレーキ側の固定ねじを締め込み、インナー・ケーブルを固定します (ブレーキの取扱説明書をご覧ください)。

ブレーキ・レバーの穴に、ラバー・キャップ (F - 図7) を戻します。

7

⚠ 注意!

ケーブルを取り付けた後、ケーブルがハンドルの操作やその他の自転車の機能を妨げていないを確認してください。少しでも干渉があると、自転車の進行方向を変えたり操作するときの妨げになり、事故や身体損傷、死亡の原因になることがあります。

4. 取り外し

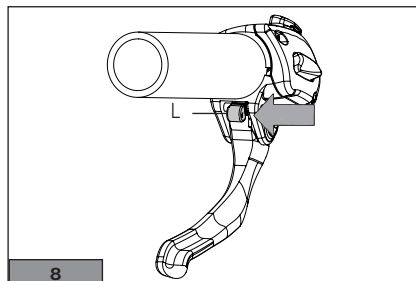
⚠ 警告!

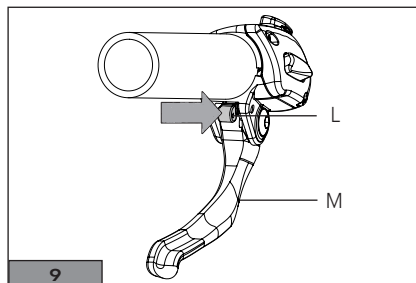
カンパニョーロ® 正規サービスセンター、カンパニョーロ® 正規プロ-ショップ、EPSグループセットを組み付けることができる専門のメカニックだけが、バー・エンドEPSブレーキ・レバーを取り外すことができます。

5. ホイールの取り外し

バー・エンドEPSブレーキ・レバーには、ブレーキ・キャリパーを解放するボタンがあり、ホイールを容易に取り外すことができます。

5.1. ブレーキ・キャリパーの開口

• Tブレーキ・キャリパーを開くには、ボタン (L - 図8) を内側から外側に向かって押し込みます。

5.2. ブレーキ・キャリパーのリセット

ブレーキ・レバー (M - 図9) の動きを有効にするには、ボタン (L - 図9) を外側から内側に向かって押し込みます。

6. メンテナンス

インナー・ケーブルとアウター・ケーブルは、2年ごと、あるいは最長で20,000 Km走行するごとに交換する必要があります。

自転車をレースに使用した場合、ケーブルとアウター・ケーブルは、1年ごと、あるいは最長で15,000Km走行するごとに必ず交換してください。

上記の点検頻度はひとつの参考となる指標であり、自転車が使用されたコンディションや強度によって大きく異なります (重要な要素の例: レースへの参加、雨、冬季の塩の多い道、ライダーの体重など)。あなたの乗車傾向に応じた、最適な点検の頻度を決定するには、あなたのメカニックに相談してください。

土や泥は自転車とその構成部品に深刻な損傷を与えます。使用した後は、自転車をすみずみまで洗浄し、乾燥させてください。

圧力洗浄機で自転車を決して洗浄しないでください。圧力を掛けた水は、たとえガーデン用ホースから出る水でも、カンパニョーロ®構成部品のガスケットを抜けて中に浸水し、修理不可能な損傷を与えることがあります。自転車とカンパニョーロ®構成部品は、水と自然な洗剤で洗浄してください。柔らかい布で拭き、乾燥させてください。研磨ブラシや金属ブラシは決して使用しないでください。